

行健小児童クラブ（第2教室）消防計画

（目的）

第1条 この計画は、消防法第8条第1項に基づき行健小児童クラブ（第2教室）の防火管理について必要な事項を定め、火災予防、人命の安全及び火災、地震、その他の災害等による被害の軽減を図ることを目的とする。

（適用範囲）

第2条 この計画に定めた事項については、当施設に出入りするすべての者に適用する。

（管理権原者の責務）

第3条 管理権原者は、当施設の防火管理業務のすべてについて責任を持つものとする。

- 2 管理権原者は、管理的又は監督的な立場にあり、かつ、防火管理業務を適正に遂行できる者を防火管理者に選任する。
- 3 管理権原者は、防火管理者が消防計画を作成（変更）する場合は、火災等の対応などについて、必要な指示を与えなければならない。
- 4 管理権原者は、防火上の建築構造の不備や消防用設備等の不備、欠陥が発見された場合は、速やかに改修しなければならない。

（防火管理者の責務）

第4条 防火管理者は こども政策課 会計年度任用職員 ●● ●● とし、この計画の作成及び実行についてのすべての権限を持って、次の業務を行うものとする。

- （1）消防計画の作成（変更）
- （2）消防計画の周知徹底
- （3）職員に対する任務及び責任の徹底
- （4）消火、通報及び避難誘導などの訓練の実施
- （5）消防用設備等の点検・整備の実施
- （6）火気の使用又は取扱いに関する指導監督
- （7）避難又は防火上必要な構造及び設備の維持管理
- （8）収容人員の把握と安全管理
- （9）管理権原者に対する助言及び報告その他防火管理上必要な事項

（予防活動）

第5条 火災予防のため、すべての者は次の事項を遵守しなければならない。

- （1）廊下、避難口、避難通路等には、避難障害となる物品を置かないこと。
- （2）避難口等は、有事に容易に開放できるよう維持管理しておくこと。

（自主点検）

第6条 火災予防上の自主検査は、別表「自主検査表」に基づき実施する。

09-9 放課後児童クラブ消防計画

2 不備欠陥事項については、早急に改善するものとする。

（消防用設備等の法定点検）

第7条 消防用設備等の法定点検は、設備点検業者に委託して、8月～9月と2月～3月の年2回実施する。

2 防火管理者は、消防用設備等の点検を実施するときは立ち会うこと。

3 点検の結果は、防火管理者が管理権原者に報告し、不備事項については早期に改善を図ること。

4 点検結果の記録は、防火管理維持台帳に編冊しておくこと。

（消防機関等への報告・連絡）

第8条 消防機関へ報告及び連絡する事項は次に定める。

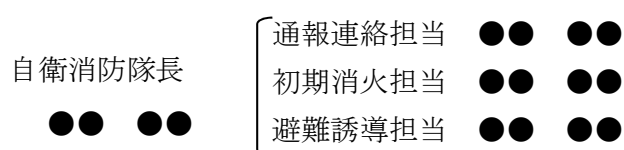
種 別	届出等の時期	届出者等
防 火 管 理 者 選任（解任）届出	防火管理者を定めたとき、又はこれを解任したとき	管理権原者
消 防 計 画 作 成 （ 変 更 ） 届 出	消防計画を作成したとき、又は次の事項を変更したとき ア 管理権原者又は防火管理者の変更 イ 用途の変更、増築、改築、模様替えによる消防用設備等の点検・整備及び防火上の構造の維持管理に関する事項の変更	防火管理者
訓練実施の通報 及び指導の要請	消防訓練を実施するとき。指導の要請は消防署と相談し適宜行う。	防火管理者
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告	3年に1回、総合点検終了後、消防用設備等点検結果報告書により報告する。 総合点検 8月～9月、機器点検 2月～3月	管理権原者

2 管理権原者は、消防機関へ報告した書類及び防火管理業務の実施結果及び必要な書類等を取りまとめて防火管理維持台帳に編冊、整理及び保管する。

（自衛消防隊の編成及び任務等）

第9条 防火管理者は、火災が発生した場合、次の自衛消防の組織により通報、初期消火、避難誘導及び応急救護の初期対応を行う。

（1）自衛消防の組織



09-9 放課後児童クラブ消防計画

- (2) 緊急連絡先 ・ こども政策課 TEL 9 2 4 - 3 8 0 1
・ 同上 (休日、時間外) TEL ●●●● - ●●●● - ●●●●

(3) 任務分担

任 務 分 担	任 務 内 容
自衛消防隊長	・ 各隊員に対する指揮、命令 ・ 被害状況及び児童の状況把握
通報連絡担当	・ 1 1 9 番通報、関係者への連絡
初期消火担当	・ 消火器等による初期消火
避難誘導担当	・ メガホンや誘導旗等による避難誘導

(放火防止対策)

第10条 防火管理者は、施設内外の整理整頓及び物置、倉庫等の施錠管理の徹底等放火されない環境づくりを行う。

(工事等における安全対策)

第11条 工事を行うときは、工事中の安全対策を樹立する。

- (1) 消防用設備等の機能に支障を及ぼす工事等では、「工事中の消防計画」を作成し届出する。
- (2) 模様替え等の工事を行う場合、工事人に工事計画書を提出させ必要な指示を行う。
- (3) 防火管理者は工事に立ち会い、又は立会者を指定し、定期的に工事状況を確認する。
- (4) 工事人に、指定場所以外での喫煙及び裸火の取扱いをさせない。
- (5) 工事人に、火気管理の責任者を作業場所ごとに指定させて提示させる。
- (6) ア 溶接、その他の火気等を使用する工事を行う場合は、消火器の準備をする。
イ 塗装などに危険物を使用する場合は、その都度防火管理者の承認を受けること。
ウ 放火を防止するために、資器材の整理整頓をする。

(震災時の対応)

第12条 震災時の災害の発生を予防するため、第6条及び第7条に定めるほか、次のことを行うものとする。

- (1) 建物及び付随施設物の倒壊、転倒、落下の有無の確認
- (2) 危険物類の倒壊、落下、浸水等による発火防止の措置
- (3) 安全な場所の指示と避難誘導
- (4) 非常持ち出し袋の携帯
- (5) その他必要な事項

09-9 放課後児童クラブ消防計画

(消防訓練)

第13条 管理権原者及び防火管理者は、通報、消火、避難誘導を連携して行う「総合訓練」を年1回以上行うものとする。

2 前項の訓練のうち、避難及び消火に関する訓練は、定期的に行うものとする。

(防火・防災教育)

第14条 管理権原者及び防火管理者は、職員に対して防火意識の高揚と自衛消防活動能力の向上のため次のとおり教育を行う。

対 象 者	実 施 時 期	教育の内容
全職員	4月、10月 ※新入職員はその都度実施する。	<ul style="list-style-type: none">・消防計画の周知徹底・火災予防上の遵守事項・職員各自の任務と活動・消火器等の消防用設備等の使用方法・その他防火管理上必要な事項

(避難経路図等)

第15条 当該施設の避難経路及び避難場所は別図のとおりとする。

附 則

この計画は、令和2年9月30日から施行する。

09-9 放課後児童クラブ消防計画

別表

自主検査表

実施項目及び確認箇所		検査日	検査結果
建物構造	(1) 柱・はり・壁・床 コンクリートに欠損・ひび割れ・脱落・風化等はないか。	毎月 1 日	
	(2) 天井 仕上材にはく落・落下のおそれのあるたるみ・ひび割れ等はないか。	毎月 1 日	
	(3) 窓枠・サッシ・ガラス 窓枠・サッシ等には、ガラス等の落下、又は枠自体のはずれのおそれのある腐食、ゆるみ、著しい変形等がないか。	毎月 1 日	
	(4) 外壁・ひさし 仕上材に、はく落・落下のおそれのあるひび割れ・浮き上がり等が生じていないか。	毎月 1 日	
避難施設	(1) 避難通路の幅員が確保されているか。	毎週 1 回	
	(2) 避難経路上に支障となる物品等を置いていないか。	毎週 1 回	
	(3) 避難口となる扉の開放方向は避難上支障ないか。	毎週 1 回	
電気設備	(1) コードに亀裂、老化、損傷はないか。	毎週 1 回	
	(2) タコ足の接続を行っていないか。	毎週 1 回	
	(3) 許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか。	毎週 1 回	
	(4) 電気器具から異臭や異音はしていないか。	毎週 1 回	

(備考) 不備欠陥がある場合には、直ちに防火管理者に報告する。